

第107号 目次

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: ja 出版者: 公開日: 2024-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属: |
| URL | https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/2000130 |

目 次

論文

1. 1人称複数形小説の物語論の試み—“A Rose for Emily” (1930), 『アフターダーク』 (2004), *Tinkers* (2009) から *Oroonoko* (1688) へ—……………遠藤 健一 (1)
2. 『西の国の美女』二部作におけるノスタルジックなモロッコ表象……………石橋敬太郎 (81)
3. 『高慢と偏見』に描かれる「ライブラリー」と「柩」—「読む」エリザベスの精神的成長との関連から—……………泉 順子 (99)
4. Effectiveness of Academic English Instruction on EFL Academic Reading Comprehension and Self-efficacy……………Fumiko YOSHIMURA (129)

2023 年度文学部英文学科公開講義

「いま、古典を読むこと」 Proceedings

1. シェイクスピアの『冬物語』におけるヒューマニズムと信仰……………石橋敬太郎 (155)
2. 『から騒ぎ』を読み直す……………福士 航 (171)
3. フィッツジェラルド, チャンドラー, サリンジャー—アメリカン・アダムから読み直すアメリカ古典小説の一系譜—……………井出 達郎 (179)
4. フォークナー, 村上春樹, ハーディング—we-narrative の物語論を求めて—……………遠藤 健一 (189)